

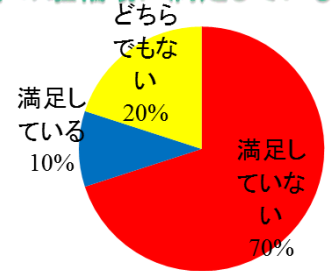
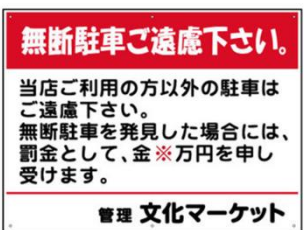
金工大7号館横駐輪場は、数が多く雑に止められていて混雑する



市場に出回っている製品

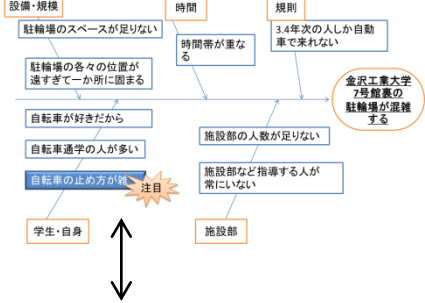
本学の駐輪場に満足しているか?

60cm×45cm

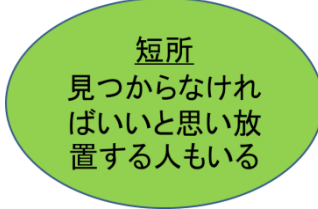


出典：2006年度 電気電子工学科 EE305-1 置き易く出し易い自転車置き場 アンケート調査結果 スライド6枚目

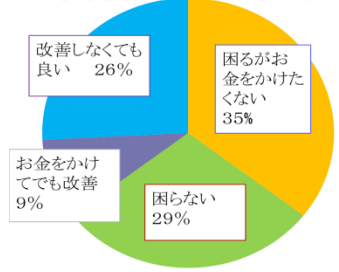
魚骨図



市場における看板の例



お金をかけてでも解決したいか? また、現在困っているか?



学生・生徒自身の意識の低さが問題

現状値

(自転車収容率)

$$\frac{518}{222} = 2.333 \Rightarrow 233\%$$

達成条件

前提条件

項目	満足すべき条件	根拠
駐輪場の広さ	165.427㎡ (1.7m×2.63m×37区画)	実測
7号館駐輪場の収容可能な自転車台数	222台 (6台×37区画)	実測
本学における駐輪場数	5ヶ所 (3,6-7,8,11,28号館付近)	学園内地図

指標	測定方法	現状値	達成条件値
駐輪場を見張る人員数	施設部の人に聞き取り調査する	0人(常に同じ場所ではない)	4人以上
違反駐輪の台数	7号館横の駐輪場内に止めていない台数を数える	296/518台	0/518台

一般の駐車場や駐輪場で見られる白線を、金工大駐輪場でも試してみる

本学における対策

アイデア説明

- ・長所: 「白線があることによって、どのように止めるべきか目安になる」
- ・短所: 「白線が引かれたところで、それを無視して止める人も出てくるのではないか」

1)施設部による自転車の移動



2)自習室横通路に置かれた看板



金沢工業大学
2012年度 プロジェクトデザインII
テーマ : 金工大7号館横駐輪場は、数が多く雑に止められていて混雑する
チーム記号: VE305-3
チーム記号: 3班
班員名 : 中島輝文 永川鉄 本間大智 的場巧真 源口敦史
担当教員名: 松本重男